

文壇のマエストロ、奥泉光の脱力系ミステリー最新作！

桑潟幸一助教授のスタイリッシュな生活3

ゆるキャラの恐怖 奥泉光・著

あのクワコーが帰ってきた！ 桑潟幸一准教授が、千葉の山奥にある、たらちね国際大学に転勤して、最初の夏休み。低偏差値大学の「受験生応援プログラム」というリクルート大作戦の一環として、ティッシュ配りにあけてくれていたクワコーへの、次なる指令は？

「ゆるキャラの恐怖」……大学対抗ゆるキャラコンテストに、着ぐるみで出場せよ！ 審査委員長はみうらじゅん。悪い予感しかないので「おそろしき事がおこるぞよ」との脅迫状が届く。

「地下迷宮の幻影」……セミの次の食材は、キノコだ！ 理想の食材を求めて大学を右往左往するクワコーは、エロナマズ大王に恫喝され、学園に渦巻く権力闘争の暗流に巻き込まれる。

「ジーヴズの事件簿」（皇后陛下もご愛蔵）も話題だが、この国には「クワコー」がいる！ 日本が世界に誇るべきユーモア・ミステリー、平成最後のシリーズ最新作。

奥泉光 (おくいずみ・ひかる) プロフィール

一九五六年、山形県生まれ。国際基督大学教養学部卒業。

一九九四年、「石の来歴」で芥川賞。二〇〇五年、「モーダルな事象——桑潟幸一助教授のスタイリッシュな生活」を刊行。二〇〇九年、「神器」で野間文芸賞。二〇一一年、「桑潟幸一准教授のスタイリッシュな生活」を刊行。二〇一二年、「黄色い水着の謎——桑潟幸一准教授のスタイリッシュな生活2」を刊行。二〇一四年、「東京自叙伝」で谷崎潤一郎賞。二〇一八年、「雪の階」で柴田錬三郎賞、毎日出版文化賞。現在、近畿大学文学部教授。芥川賞選考委員をつとめる。また、積極的に音楽活動を行なっている。

インタビュー、書評などのお問い合わせ

文藝春秋 プロモーション部

TEL03-3288-6142 pr@bunshun.co.jp

(文藝春秋刊 1700円+税)